フェードイン・フェードアウト

ここでは、画像の切り替え時などによく使われるフェードイン・ フェードアウトについて行っていきます。

この機能は、表示非表示を切り替える際、指定した時間をかけて 不透明度を増減させだんだん消えていく(見えてくる)という 表現を行います。

また、フェードしながら不透明度を変更することもできます。

・フェードイン

display が none になっているものを、指定に従ってフェードイン しながら display を block にします。

a、イージングなし

fadeIn("slow") ゆっくりめ

fadeIn("fast") はやめ

fadeIn(1000) 数字をいれた場合、ミリ秒単位の時間をかけて

b、イージングあり

イージングする場合は、上記の()内に追記する。

fadeIn("slow","linear")

(例) button がクリックされたら div 要素がフェードイン \$("button").click(function(){ \$("div").fadeIn("slow");

});

・フェードアウト フェードインの反対に display が block のものを、指定に従って フェードアウトしながら display を none にします。 a、イージングなし fedeOut("slow") b、イージングあり fadeOut(1000,"linear") (例)button がクリックされたら div 要素がフェードアウト \$("button").click(function(){ \$("div").fadeOut("slow"); }); ・フェードしながら不透明度の変更 フェードしながら指定した不透明度になっていきます。 display は block となります。 不透明度の設定は、0(透明)~1(不透明)となります。 a、イージングなし fadeTo("slow",0.5) b、イージングあり fadeTo(1000,0.5,"linear") (例) button がクリックされたら div 要素が不透明度 0.5 にフェード \$("button").click(function(){ \$("div").fadeTo("slow", 0.5); });